

建築後 4 2 年目を迎えた苗名小屋にも、今年の冬がまた来ました。

冬季の小屋で過ごし、楽しむ仲間の遣り取りなどを紹介しましょう。

最後のページに先シーズンの積雪情報グラフを掲載していますので参考にして下さい。

今シーズンは、寒波が 1 2 月 1 6 日から約 1 週間押し寄せて妙高にも大雪が降りました。

またこれからも小屋入りした情報を逐次報告していきます。

2009年12月28日掲載、30日、31日更新、

2010年1月6日、7日2回、12日、14日、19日、21日、23日、25日、26日、28日、

2月14日、23日、3月7日、13日、25日、4月3日、25日、30日、5月5日更新

YWVOB 会 HP 委員会編集

残雪深い雨飾山を登山後、そして苗名小屋に

小野、小口、榎本氏 3 人のパートワンダリング 2010年5月2日～4日

1 2 期榎本です。

連休前に急遽？思いつき、5 / 3 雨飾山ピストン、山小屋泊、1 4 期小口さん、3 4 期小野さんと 3 人で
行ってきました。下記サイトに小口さん撮影分をアップロードしました。

前回の山小屋写真、小口さんより即頂いていたのですが、アップし忘れていましたので、まずは速報で送
ります。私の撮影分もかなりあるのですが、現在デジカメの接続 U S B コードが行方不明ですので、後日
おくります。

5 / 2 の夜、2 0 時 3 0 頃、秦野駅で小野さんをピックアップ、御殿場、富士五湖道路、中央高速経由で
登山口の雨飾キャンプ場駐車場に 5 / 3 2 時前の到着。車内で仮眠後、5 時半頃に小口さんが到着。

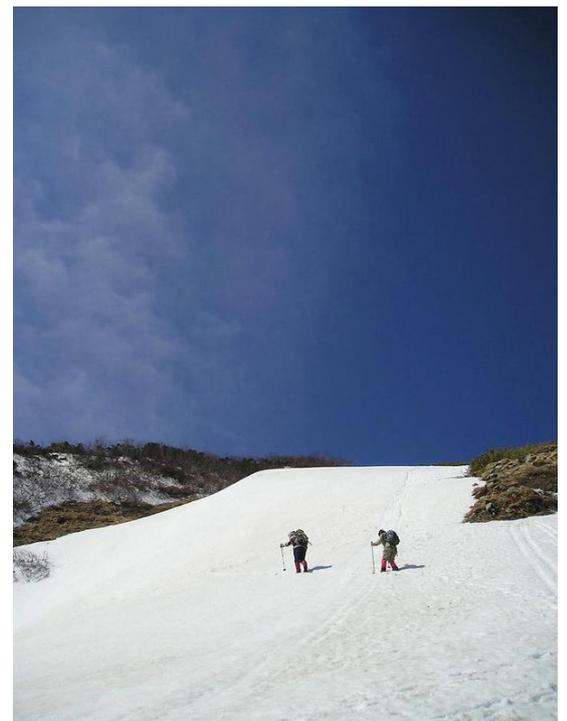
6 時前に出発した。山頂へは 9 時半頃に到着し、風も急に収まった山頂で小一時間、快晴の展望と、早め
の昼食を取り、1 0 時半過ぎに下山開始し、1 3 時に駐車場に戻りました。

8 本ツメ以上のアイゼンを持って行きましたが、結局使いませんでした。頂上直下の急斜面ではちょっと
緊張しましたが、天気も良く快適は山行でした。下山後、雨飾温泉宿そばの露天風呂（残念ながら混浴で
はありません！料金規程はなく寄付レベルです、）で汗を流して、小屋に向かいました。

（日本海回りで小屋入りしたのですが、途中大渋滞で小屋着は 1 9 時過ぎとなりました。



小口さん撮影の写真 1 3 枚を、アルバムにも
掲載しましたのでご覧下さい。

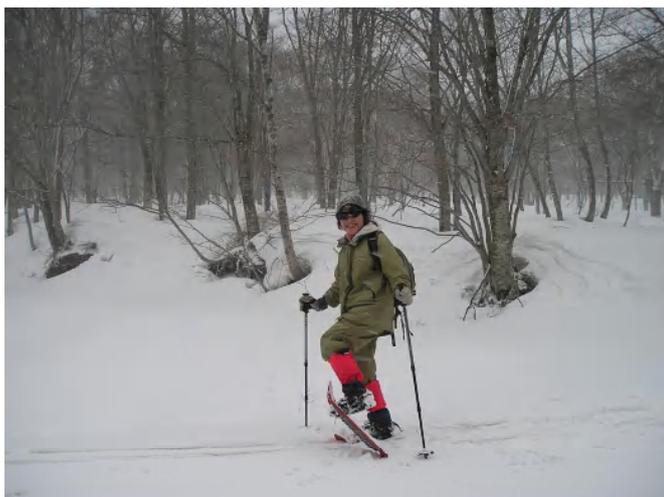


また、榎本さん撮影の写真も、後日アルバムに掲載する予定です。

左から村山、小野、親跡、佐木、榎本、安藤（撮影小口）氏



2010年3月21日 4月25日掲載（小口氏提供）





撮影者小口氏

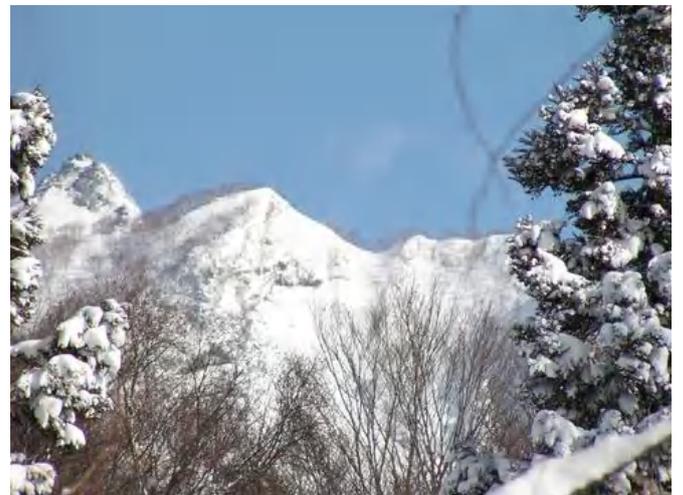
以下4枚の写真は笹倉氏撮影&提供



3月三連休に小屋入りし



雪を楽しむ仲間たち



4月下旬の小屋便り

安藤です。

4月24日(土)、25日(日)と小屋へ行ってきました。メンバーは、協力隊でモロッコへ行っていた昔の仲間3人とです。林道は、五八木の水場の上のところまで道半分封鎖しているだけで、自由に通行可能でした。スキー場は、下の方でかなり地面がでていますが、三田原のゲレンデは全面雪で覆われ、道路の雪壁は多いところで2mあり、かなり雪が残っていました。

小屋の周辺はすべて雪で、水芭蕉の池が融けていて小さな花が咲いていました。いつもの道路脇の駐車スペースはなく、雪は50cm位残っていました。駐車は反対側の雪のないところにギリギリ寄せておきま

した。

白樺の樹液は、かなりでていて、24日の夕方の2時間位で、3L位採り、それで水炊き鍋にしました。その夜は、晴天で気温がマイナスとなり、樹液が凍っていました。翌日曜日は、快晴でしたが、なかなか気温が上がらず、ようやく10時位から樹液が出始めました。

イタヤカエデの樹液は、前回3月の時には、全くでなかったもので、その後で少しでたかと期待をしていましたが、出た様子はありませんでした。再度穴を開けたところそこからは、樹液が出てきました。白樺より濃い感じで、より甘い樹液です。去年と違い、雪がかなり残っているため、芽吹きが遅くなっているでしょう。

この連休は天気も良さそうで樹液採りには良さそうです。ペットボトルと透明パイプは小屋にありますから、どなたか樹液採りをしてください。

小屋3月雪下ろし報告 11期・安藤

3月20日、21日、22日に第3回雪下ろしを行いました。

20日は、新潟から村山さん、長野から小口さんがお昼から、東京からは笹倉さん、安藤が午後から雪下ろしならぬ、雪上げをしました。屋根の雪はすべて落ちていて、柱堀とベランダ側の雪囲いを掘り出して、光が入るようにしました。夕方に佐木さんが、夜になって東京を午後に出た榎本さん小野さんと、高田から親跡さんが杉野沢から歩きで到着しました。3連休のため、関越道が混み合い夜になってしまいました。

夜半過ぎから風と雨が強くなり雷もなって大荒れの天気となりました。

21日朝は、風は強く雪混りでしたが、仙人池までスノーシューとスキーで散歩に出かけました。初めて履くスノーシューにどう履くのかとまどっていました。アルミフレームあり、プラスチックありの形の違うスノーシューで散歩を楽しんだようです。残念ながら笹ヶ峰の展望はなく、ビュービューと吹き荒れる風に追い立てられるように帰ってきました。

今回の小屋でのイベントでイタヤカエデの樹液採りを試しました。昨年、諸角さんにテープを巻いてもらった3本のイタヤカエデにドリルで8mmの穴を30mm位の深さで開けましたが、残念ながら樹液は出てきませんでした。小口さんがイタヤカエデの樹液採りを山形でやっているのをテレビで見たと言うことで期待したのですが、小屋の周りの木はまだ冬ごもりをしているようです。

午後には、冬方の天気になり大雪となり夜半まで雪が降り続けました。

22日は、快晴となり新雪がすべてを覆いつくし、すばらしい朝でした。高速道路の渋滞も考え、9時過ぎに小屋を出て、苗名の湯で汗を流して帰途につきました。

今年から三田原スキー場の第1高速リフトの営業が中止され、スキーでの小屋入りは杉ノ原スキー場のゴンドラのみとなり不便になりましたが、三田原スキー場の第1高速リフトが通っていたスキー場ががら空きとなり、歩きでの登、下りには好都合です。スノーシューを活用してスキー場を散歩できます。来年は、

スノーシューで小屋へ来てください。

4月の小屋予定

3月にできなかった樹液採りを4月に行うことを予定しています。

4月24日、25日で白樺の樹液採りです。また、除雪した林道脇にはフキノトウが出ています。



1月23日～24日；イグルーもどきを創作中の11期・安藤さん、39期・後藤さんの友人の八木さん、41期・石川さんの長男晶くん

41期・石川さんの長男5歳の晶くん最年少記録樹立自力で苗名小屋に着く。林檎をばくつく姿！隣は父。



2009年の春、三田原山に登る



雪ですっぽり埋まった苗名小屋

春の山小屋周辺の楽しみ方 8期・佐木氏（3月13日苗名小屋MLより引用掲載）

3月に入ると雪が締り歩きやすくなり、更に日照時間も長くなり1、2月と比べると寒さも和らぎ、山小屋周辺の三田原山の山麓は、スキー、スノーハイキングの楽しい場所です。

簡単に楽しめるコースの案内

1. 池の峰の往復

林道沿いに山スキーか、スノーシューを使って歩けば簡単に往復できます。
林道を歩けば登山靴、長靴、スキー靴でも歩けます。スキーを担い登れば戻りはスキーが使えます。

2. 笹ヶ峰の往復

春の笹ヶ峰は素晴らしい景色が楽しめます。
林道沿いに歩くか、池の峰の上部を超えていけば簡単に行けます。
歩き方は池の峰往復と同じです。

3. 三田原山稜線の往復

山小屋から沢沿いに山スキーか、スノーシュー（輪かん）を使って登っていけば簡単に三田原山の稜線に行けます。雪の状態が良ければ登山靴、長靴でも問題なく登れます。

4. 山小屋—三田原山—高谷池—笹ヶ峰—山小屋

山スキーに慣れたパーティーならば難しいところはありません。三田原山の楽しい滑降が楽しめます。

雪山を歩く際の注意事項をしめします。

1. 雪山は予想外の危険が起きることがあるので、山小屋に集まったメンバーと一緒に歩く際はリーダーを決めてパーティーで行動することが原則です。
メンバー構成(スキー、スノーシュー、登山靴だけ)によってはパーティーを分けてそれぞれにリーダーがいて行動した方が良いことも考えられます。
リーダーの役目はパーティーが安全に行動するためのとりまとめ役となることです。

2. 雪山を歩くときは山を良く見てルートをとることで。

雪山で行動する際は2万5千分の1の地図で地形を理解しておく役立ちます。
天候、積雪の状況(雪の層の状態も)、パーティーの状況(スキー、スノーシュー、登山靴だけ)によってルートの取り方が変わっていきます。
トレースがあったからといって安易についていくことは避けなければなりません。

3. 雪山では天候の判断は重要です。

出発時に天気が良くてもこの良い天気が何時間継続するかを見極めて行動する必要があります。
前線が通過する際には急激に悪天となるのでそれまでに行動を終えていなければなりません。
天候が変わりガスで急に見通しが利かなくなることがあるので、地図、磁石はパーティーに必携です。
高度計のついた腕時計があると現在位置の確認に役立ちます。
濃いガスで見通しが利かなくなると傾斜を滑っているか、止まっているかが分からなくなることもあります。

4. 昼食は凍らないもの(保温容器に入っていない米飯は最悪です)とし、

行動時間の長いルートでは予備食、非常食、懐中電灯が必須です。
非常用にツェルトがあると役立ちます。

5. 三田原山麓では危険度は少ないと考えますが、雪崩、雪屁に対する注意は必要です。

雪崩は積雪の状態、天候によって、発生の可能性は大きく変わります。
昨年、山小屋に集まった皆さんと三田原山に登った際に、リフトの最上部の小さな沢は積雪の状態によっては雪崩の恐れがあると感じました。
スキーでトラバースする際に雪崩が起きることがあるので下部に人がいる場合はルートの取り方にも注意が必要です。
三田原山の稜線は豪雪地帯なので規模は小さくても風上の妙高山側に雪屁があると考えて行動する必要があります。

6. 雪山でのスキーによる滑降はグレンデと異なり、何が起きるか分からないので、パーティーで安全を確認しながら滑ることが原則です。

先頭の人を確認できる距離まで滑り、そこに全員が集まって安全を確認しながら滑ることが不可欠です。
木の下で積雪の少ない場所に落ち込み木の枝に頭が下になってぶら下がったり、雪だまりに突っ込んだりして一人では脱出できないことが起きることもあります。

7. 小さな沢を乗り越そうとしても積雪期は、スキーを使って一時間以上もかかり、輪かんでは通れないこともありルートの見分けはとても大切です。林道以外を歩こうと思ったらスキーを使わなくてもストックは必須と考えるべきでしょう。

山小屋周辺で不安があり私が積雪期に避けていたルートを示しておきます。

1. リフトの上部から右側に上るルートは地図を見ると岩稜の記号があり登る気がしません。

昨年、皆さんと登ったルートよりもさらに左側を登っていました。

2. 三田原山稜線から山小屋と池の峰の間に滑りこむルートは、林道を見落として通り過ぎると複雑な地形の中に入るのを避けていました。稜線から山小屋の近くの沢に滑りこむか、笹ヶ峰または池の峰に下っていました。このルートだと天候が少々悪くても問題が起きることはないと考えています。

3. 三田原山外輪山から妙高山への夏道のルートは雪崩の不安があります。妙高山に冬登った際には山小屋からグレンデを横切り更に水平に行き外輪山が終わってから妙高山にとりつきました。

今冬・第二回雪下ろしの情報

ご苦労さまでした。当初暖冬だと長期予報がありましたが、見事に裏切られて今年の冬は、豪雪地帯にはかなりのドカ雪が断続的に降りました。

昨年のデータはこの記事の最終ページに掲載しています。それとホームページの小屋の写真をクリックして見られるデータと比較してみてください。積雪重量に大きな差異があり、今冬は異常に多いことが分かります。

従って緊急雪下ろしを1月に行い、当初計画していた、第一回、今回の第二回と適宜雪下ろしがなされて、その積雪荷重による小屋への圧縮を防止し、独特の四本支柱（梁）周りの雪あげにより小屋を介護？してあげてきました。

昨年につき、現役部員が協力されて、小屋への愛着も増幅したと思いますし、雪下ろし、雪あげの技術伝承が多少なりともなされたものと思います。 9期・鈴木記



雪下ろしに参加される皆様

51期の茂呂です。

現役の参加は7人の予定でしたが、中野が研究室の集まりがあり、どうしても参加しなければならないということで参加できなくなりました。ですので、現役の参加は6人（茂呂、渡辺、鈴木、野中、佐藤、三國）になります。

現役は全員一緒に19日夜発の夜行バスで現地に向かいます。

妙高の杉の沢、宮前スポーツ前に20日6:30頃に到着する予定です。

石川さんから、ボーイスカウト連れての雪下ろし、最大10名、最低6名との連絡があります。

これにて、常連の安藤さん、榎本さん、後藤さん（何人？）と総勢15数名～20数名と大所帯に成りそうです。

石川です。

すでに皆様から報告があったとおり、息子を連れての冬小屋に初挑戦してきました。

余程の積雪を予想して来たのですが、直前に緩んだ冬型の気圧配置により、気温が一気に上がったおかげで雪が締まり、歩きやすい状態でしたのでゲレンデの取り付きから1時間もかからずに小屋入りすることが出来ました。

シブタミ沢の崖の上から林道に下ったのですが、スキー板を履いたまま滑り降りてた息子の姿が印象的で

した。

雪下ろしの最中は、後藤さんの関係者と雪遊びに興じていまして、一部邪魔だったとは思われますが、たいそうな雪の中で初めて遊んで楽しかったようです。

夜は大人たちが楽しそうにしゃべっている姿を見て自分もハイになったのか、まさに酔っ払いの状態ではしゃいでました。

安藤さんや榎本さんに可愛がってもらっていたのは親として嬉しいものですね。

翌日もスキーを半日ほど楽しんで温泉⇒寿司の昼ごはんとフルコースでした。

帰宅後も大きく体調を崩すことなくいます。

2月の雪下ろしにも時間をとって参加する積もりでいますので、その時はまた連れて行きたいと思います。

次は泣きが入るくらい小屋入りするのが大変な状況を期待しています！

因みにボーイ隊を中心とした若者も5～10名ほどいく可能性があります。

にぎやかな雪下ろしになりますが、よろしく願いいたします！

41期・石川 1月28日19:21発信

各位

こんばんは、後藤です。

第一回雪下ろしに参加された方々、お疲れさまでした。

村山さんには災難でしたが、携帯も無事に見つけて良かったです。

今回は部外者多数でみなさまにはお世話になりました。

皆また行きたいと申しておりましたので、よろしくお願いします。

24日は、石川親子はゲレンデでスキー、後藤組4名はスノーシューでハイキングに行ってきました。

時間もあまりなかったので今回は仙人池までにしましたが、天候にも恵まれてすばらしいハイキングでした。

片道40分くらいでしょうか。いずれ笹ヶ峰あたりまで行ってみたいです。

スノーシューは1足小屋に置いてあったものをお借りしましたが、結局帰り際に小屋に置きに戻りました。

ちなみに小屋から苗名の湯までは1時間弱で下山しました。

幸か不幸か、今年は第一高速が動いておらず、ゲレンデに人が少ないため非常に歩きやすかったです。

写真は携帯でしか撮ってませんが、そのうちアップロードしたいと思います。

次回は2月の雪下ろしで小屋入りのつもりです。

39期・後藤 1月26日2:00発信

山小屋関係各位

12期・榎本です。1月23日（土）～24日（日）の第一回雪下ろし作業の写真を下記アルバムサイトにアップロードしました。

安藤さんが、前日金曜日の午後に小屋へ到着した時は、屋根雪はてっぺんから全て落ちていたそうです。

（安藤さんは、金曜日は友人と、五八木荘が満員だったので、下のスイスロッジに泊まりました。）

翌日、雪下ろし作業は9時過ぎから、先着の小口さんと、安藤さん、友人の丹野さん、榎本の4人で作業開始しました。屋根雪は、昨夜降った30cm程度でしたので、ほっておいて、小屋内でストーブをバンバン？

（2階でも）つけて、中から暖める作戦としました。小屋周辺の排雪と柱掘りに集中し、後藤さん。石川さん組が到着後、造林小屋の雪下ろしも実施。結果は、写真のとおりです。内部からの暖め作戦は、断熱材の効果（逆効果）が効いていそうです！

よろしく

尚、石川さんの長男「あきら」君、5歳は冬小屋（自力でスキー入小屋）の最年少記録ではないでしょうか？

笹倉君

YWVシニアの集まりでも参加率の異常に低かった8期でしたが、だんだんとサンデー毎日愛読者が増えてきて今では十数人がシニアの月例に参加するようになって来ました。

OB界とはそんな世界なんだと近頃考えてます、です。

好奇心旺盛な超若いOBはワングルを離れて別世界を見て回ってます。私もそうだった。

中堅OBはワングルに戻りたくても仕事という化け物に押しつぶされてその快感に浸ってます。

（私はそうでもなかった。一步引いて窓際を楽しむほうが好きだった。）

そこを過ぎると何も規制が無くなって徘徊をはじめ行き着く先がOB界という棺桶の一步手前の世界なんです。

そういった連中がやいのやいのと集まって若いやつらが参加しないと愚痴をこぼすんです。

笹倉君は上記の一般常識外の変人でした。

私もそうだった。中堅OB時代に棺桶の一步手前の世界に迷い込んでしまったのです。

今貴君は常識世界に呼び戻されたのかもしれませんがね。

ハッ、ハッ、ハッ（別世界の池原の笑い声）

1月23日（土）9：33発信

安藤さん、後藤さん、石川さん、村山さん、榎本さん、他皆さん

うらやましい。

小屋除雪作業：重労働ではあるけれど、目標の見える共同でやる作業、

夜のお酒と信頼できる仲間との語らい、完了時の達成感！

良いですね。参加しなくなって3年かな、小屋除雪の思い出は楽しいことばかりです。

毎年今年こそはと思いつつ、気が付けば春。今年も今年こそはと思っているんです。

思っているだけでは事は運びませんね。

私は何か聞かれたときや予定を話すときに「・・・したいと思います。」という言い方はしません。

単純に「・・・します。」か「・・・としたいと考えています。」と応えるようにしています。
「思う」という言葉をつけるのは極力避けてます。「思う」は何か願い事をしているようです。
他力のように気に入りません。「考えている」は自ら切り開こうとしているように聞こえます。

雪に埋もれた小屋除雪後の小屋思い出すだけでまた行きたいと思う。
アア、皆さんがうらやましい。今年こそはと思っているのですが今のところはいけそうも無い。

楽しんできてください。

邪魔になるだけの 8期・池原 1月21日10:12発信

34期・親跡です。(妙高市街地に住む、山小屋委員で特に当苗名小屋の遠隔現地本部長?)

ここ30年で最も強い寒気が、大雪をもたらしているようですね。

“寒波：北半球の異常低温 「北極振動」が原因 気象庁分析”

<http://mainichi.jp/select/science/news/20100118k0000m040088000c.html>

「北極振動」が「マイナスの値」をとると、日本に寒気をもたらされるとのこと。今はプラスに振れているようですが、果たしてこの先に待つものは。

"気象予測センター・テレコネクション：北極振動"

http://www.cpc.ncep.noaa.gov/products/precip/CWlink/daily_ao_index/ao.sprd2.gif

添付写真は、土曜日の除雪の様子です(撮影は下屋根(1階の屋根)にて)。

2010年1月18日20時発信



34期・親跡さん(妙高市街地にて)

石川です。

今回の雪下ろし、息子と二人で参加いたします。

BS隊の本隊を引き連れた雪下ろしは第2回で行います。

第2回に関して今のところ、参加したいという意志があるメンバーが5名ほど居ます。

若者が多いですので戦力として期待しています。

あとは日程が合うかどうかの問題になりそうです。

息子も少し大きくなってきたので、雪下ろしの戦力にはなりません。

連れ出して私が雪下ろしに参加することが可能となりました。

初めて大雪の中に放り出しますが、色々な経験が出来そうなので楽しみにしています。

41期・石川 2010年1月18日20時発信

こんにちは、39期後藤です。

緊急雪下ろしに参加された方々、お疲れさまでした。

日本海側は再び大雪となっているようですね。

来週末の第一回雪下ろしも本腰を入れてかからないといけないようです。

というわけで、第一回雪下ろしの確認です。

現在把握しているのは以下の方々です。

不足、誤りがございましたら訂正をお願いします。

(敬称略)

安藤(11)

榎本(12)

後藤(39)

後藤弟(部外)

後藤同僚(部外)

石川(41)

石川子(部外)

後藤は 22(金)夜発か 23(土)早朝発かまだ決めかねていますが、

マイカー(レガシィ B4)で行く予定です。

また、食料を調達していこうと思っておりますが、よろしいでしょうか？

以下最新の雪下ろしの写真を紹介します(スライドショーやアルバムに多くの写真を掲載 1/14)



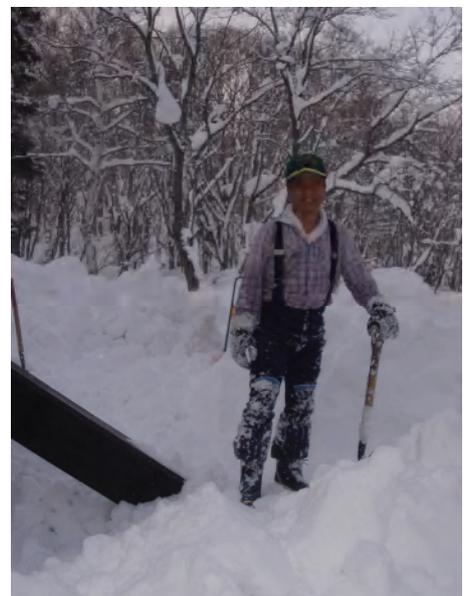
1月10日自然落下直後、梯子も雪崩の影響



上越市から日帰りで駆け付けた14期・鈴木さんが奮闘



30期・宮崎さんの友人、紅一点、東側入口付近にて



長野から日帰りで駆け付けた14期・小口さん
4本梁・土台回りの積雪縁切りに没頭



9期・鈴木と30期・宮崎さんの友人



雪下ろし前の造林小屋、玄関は30期・宮崎さんらが積雪の縁切りをしてくれていた



11日造林小屋に挑戦中の11期・安藤さん



このように造林小屋の雪は無くなりました



造林小屋の北面雪庇からの雪落下の瞬間



造林小屋に登って雪下ろし中の12期・榎本さん



12月31日～1月3日、更に1月9日～11日滞在した
30期・宮崎さんと友人が雪下ろし後の小屋を去る



苗名小屋から美しい冬景色を堪能した至福の瞬間 その1



苗名小屋から美しい冬景色を堪能した至福の瞬間 その2

9期の鈴木です。 2010年1月12日14時過ぎに記す（11日24時過ぎに帰宅）

14期の小口さんが既に報告されているので、11日に行った造林小屋屋根の雪下ろしを中心の報告をします。

前日の苗名小屋本体の雪上げに頑張っていて疲れが残るなか、天気も良くて10時前頃から11期・安藤さん、12期・榎本さん、鈴木さんの3人で取り組み、約3時間掛けて事故もなく安全に作業を遂行しました。

故岡田悟さん（苗名小屋の土地所有者）が生前に「造林小屋をワングルで自由に使っていいよ」と言われて、ずっとこれまでも苗名小屋の雪下ろし時に一緒に実施してきました。

ただ、人気（ひとけ）も無く冷え切っており、屋根の総面積も狭く、且つ屋根勾配がきつくて、二段式垂直梯子がようやく届く状況であり、作業者が屋根の上に乗る段取りでもって、先ず豪く手こずります。

今回は、筆者が「梯子押さえ、安全確保のための屋根縁位置の下からの連絡、写真撮影」を担当し、安藤、榎本さんが、2台のスノーダンプと二つのスコップを荷揚げしてひたすら重労働に勤しまれました。

積雪荷重が1平米当たり400kgとし、屋根面積を概算8m*15mとすると、何と約5トンもの雪をスノーダンプやスコップで縁切りし、落下させるのです。

西側の屋根の勾配は約35度位、東側のそれは約20度位でしょうか、屋根の上に立つと恐らく絶壁に見えることでしょう。

屋根の東北方向の縁先端部は既に変形しており、雪の重みが如何に大きいのが窺い知ることができま

す。既に過去にこの造林小屋は積雪で潰れたかと聞いています。杉野沢スキー場ゲレンデ脇に建つログが数年前に潰れてしまい、そのまま放置されているのを、スキーで滑りながら帰るとき改めて眺めてきました。

小口さんが下を書いてあるように、手始めに頂部の雪下ろしをしたら四つの稜線近辺に亀裂が入り、一種の雪崩の兆候が現われて佐々木さんがスムーズに滑って落ちて小屋との隙間に押し込められたそうです。

その後、作業を中断して小屋内で暖をとりながら様子を見ていたら後発隊が到着し、暫くの間雪下ろし作戦会議をしていたら、地震が起きたような轟きと共に屋根にあった雪全てがいきなり落ちてくれました。

今回なぜこんな現象が起きたのでしょうか。例年以上に年末年始に37℃近くの体温のある人間様が小屋のなかに入り生活し、石油ストーブをつけて内部から温めたのが効いたのかも知れません。皆で色んな、奇抜なアイデアを出し合っていたときでした。そして主柱を叩いて振動を与えれば落ちるのではと冗談を言って、柔な私めが実際軽く叩いたときでした。これって本当の話です！！信じられますか??

なお幸いにも屋根の直下に誰もいなかったので事故も無く済みましたが、万一周りを歩いていたら正しく雪崩のような被害を受けたのかも知れません。

14期の小口です。1月10日22時34分受信

緊急雪下ろしに行ってきたので、本日10日の状況を簡単に報告します。

参加者：9, 10, 11日 宮崎さん(30期)、佐々木さん(部外者)
10, 11日 鈴木さん(9期)、安藤さん(11期)、榎本さん(12期)
10日 鈴木道夫さん(14期)、小口(14期)

○昨日、造林小屋の庇の雪下ろし(宮崎さん、佐々木さん)

○本日、天気は、雪は舞っている程度、風なし。小屋周辺の積雪は約2m。小屋の屋根てっぺんに大きな塊、団子状で積雪。その下、30センチ程、屋根が見える状態。

まず、屋根てっぺんの雪下ろし終了。その後、雪下ろし最中に、北面の屋根の雪が(出窓の上の雪も含め)突然いっぺんに滑り落ちる。1名一緒に落下するも怪我なし。このため、様子を見ることとし、小屋内で休憩。暫くの後、あとの3面の屋根の雪が大音響と大揺れとともに、いっせいに滑り落ちる。その後、落ちた雪の片付けと、小屋周り4本柱の雪堀を行いました。まだ、造林小屋の屋根には手がついていない状況です。

小屋は、南面の壁がさらに改修され、広くなり使い良くなりました。また、窓ができたため、明るくなりました。ただ、トイレが若干臭うため、消臭剤が必要かと思いました。以上です。

30期の宮崎です。

年末年始に小屋入りしましたので、状況報告します。
3連休の緊急雪下ろし決定後の報告となりすいません。
メンバーは、私と職場同僚・佐々木の計2名でした。

12/31

五八木荘で奥さんにあいさつし、車をゴンドラ駐車場に停め、ゴンドラで上がる。私は山スキーで、スキー未経験の佐々木はスノーシューでゲレンデを下る。しかし、視界が悪いのとスキー場の圧雪範囲変更などで、目標地点より林道のカーブひとつ分下に出てしまう。ラッセルの苦労を考えれば痛恨のミス。はじめからゲレンデ右端を下ればよかったと後悔。

宮崎もスノーシューに履き替えるが、いきなりの林道ラッセルで重荷に苦しむ。



元旦午前、ラッセルをする宮崎さんの友人



元旦夕方、駐車場の自家用車が埋まった

今回は三田原山往復や雪洞作りなどなど欲張った計画にしたため、スノーシュー2台、スキー2台、スコップ2本などなど装備が重すぎた。

当初の目標地点に着くころにはへろへろで、仕方なくスキー2台をデポ。小屋までのトレースはわずかに残っており、これをたどって小屋へ。小屋15時着。ボーイ隊や後藤さん一行はすでに下山したあとで、後藤さんに電話して鍵の位置を教えてください、中へ入る。

一晩で80~100cmほど積もったようだが、風は吹かず、夜は静かだった。



1月2日午後の造林小屋



1月2日午後の苗名小屋

1/1

ドカ雪のため山へ入るのは無理と判断し、ゲレンデに出て苗名の湯に入り、ゲレンデでスキー練習して小屋に戻る予定で 10:20 小屋発。ラッセルはスノーシュー&空身で股上から腰。2人で交代しながら進むが全然はかどらない。昨日のデポ地点でスキーを掘り出して履き替え、今度はスノーシューをデポ。ゲレンデに到達したのはなんと 13:50。小屋から 3 時間半もかかった。時速 0.2km 未満といったところ。

ゲレンデを滑り、疲れきってサンアントンで食事。この時点で、小屋へ戻るのは時間的にリスクが高いと判断し、車中泊決定（ウウ...）。

ロマンスリフトでゴンドラ乗り場まで戻るとすでに 16:30 で薄暗い。駐車場で車を探すと、案の定というか、想像をはるかに超えた埋まり方をしていた。

国道 18 号沿いのセブンイレブンとチェーン着脱所の広い駐車場で車中泊。夜間も雪は降り続けるが、昨夜ほどの強さではない。

1/2

ひと晩の積雪は 40cm ほど。午前中はスキー練習することにして 4 時間券を買い、8:20 ゴンドラ乗車。今日の鍵は、スキー初経験の佐々木がスキー場の圧雪斜面からスノーシューデポ地点までの約 200m の非圧雪斜面を何分で突破できるか。圧雪されていない雪面でスキーを履いた状態で転ぶと、起き上がるまでに 10 分はかかりそうだ。そこで、事前に宮崎がその区間をスキーで 2 回トレースし、地ならししておいた。

佐々木も意外とスムーズにデポ地点まで到達。すると、笹ヶ峰方面からと思われる立派なトレースがあり感激！ このトレースを利用して林道カーブミラー地点まで難なく前進。ここから小屋までの昨日のトレースはほぼなくなっていたが、それほど苦もなく戻れた。デポ地点から小屋まで 20 分だった。

1/3

一晩の積雪は 30cm。

トータルの積雪は、まだまだ軒下には到達しないくらいで、屋根の雪とくっつくにはまだ余裕がある状態。屋根上の積雪は 1.2m 程度か。

ただし、おそらく 4 日以降も毎日積雪はあつただろうし、6 日 7 日には相当積もっていることだろう。

皆様

正月から大雪が続いています。日本海側は来週始めまで雪が降り続く予報で、この時期に小屋の雪下ろし必要になっています。その為、1 月 10 日、11 日で最低 5 人雪下ろし隊を送りたいと思います。10 日、11 日で参加できる方を募集します。緊急で申し訳ありませんが、参加できる方お知らせ下さい。

今年の雪下ろしは、1 回目／1 月 23, 24 日、2 回目／2 月 20 日 21 日、3 回目／3 月 20, 21, 22 日を予定しておりますが、今年はヨーロッパ、アメリカと大雪が続いており、緊急雪下ろし必要となりました。

よろしくお祈いします。

親跡さん

人員のまとめをお願いできますか。

1 1 期 安藤（山小屋委員長） 2010 年 1 月 7 日 8:01 受信

今年もよろしくお願ひいたします。
小屋の雪下ろしについて私から報告いたします。

小屋の状況はすでに後藤さんからも報告があったとおりです。
当日はたいした積雪も無く、スムーズに小屋入りできております。

ボーイ隊のほうも初心者が2名居ましたが、積雪の状況から特に苦勞することなく小屋入りできたため、非常に助かりました。

今回の参加者は子供が4名、大人が5名でしたが、特に大人たちはまた来たいという要望があったため、雪下ろしに参加する形でもう一度小屋入りする予定です。

どちらかというとな参加する効果が大い2月中の雪下ろしを予定しています。
日程が良くわかっていないため参加者はまだ確定していませんが、少なくとも3~4人、多ければ6~7人程度見込めます。

日程がわかるようであればご連絡いただければ幸いです。

以上 よろしくお願ひいたします。

YWV 4 1期・石川 2010年1月6日 18:33

39期 後藤です。

明けましておめでとうございませす。
本年もどうぞ宜しくお願ひ致しませす。

写真は携帯で撮ったものならありますが、アップロードのすべがないので、とりあえず文章で報告しませす。

12/28(月)

概ね晴れ。強風で第三高速リフトは停止。

ゴンドラからは野尻湖の方まで見渡せて綺麗でした。

この日は後藤と後藤弟、後藤同僚の計3名が夕方小屋入り。

この時点での小屋周辺の積雪はほとんどなく、玄関まで完全に見える状況でした。

林道もスノーモービルと思われる跡が残っており、比較的歩くのも容易、ただし林道からそれると雪が少なく、木々が雪面から出ており、少々邪魔でした。

12/29(火)

概ね晴れ。

41期石川君と横須賀ボーイスカウト一行が小屋入り。

小屋の中は一気に賑やかになりました。

夜は若干雪が降るも、時折晴れ間が出ており、快晴とはいかないまでも月と星が綺麗でした。

12/30(水)

日中は概ね晴れ。

夜から寒波の影響で一気に雪が降りました。

31日までの一晩で40~50cmは積もったのではないのでしょうか。

12/31(木)

吹雪。ゲレンデも深い新雪になっていました。

石川隊はAMに小屋を出て、そのまま下山し、苗名の湯に向かったようです。

後藤隊は昼前まで小屋で後片付けなどをしたのち、少々滑ってから下山しました。

この日から小屋入りした30期宮崎さんから電話をいただきましたが、完全に入れ違いとなってしまう、お会いできず残念でした。

今週も寒波で日本海側は大雪、と言われているようですね。

年末の寒波のときと同じように降ると、かなりの積雪となると思います。

1月の雪下ろしもそれなりに覚悟した方がいいかもしれません...

とりあえず、後藤は1月の第一回雪下ろしに参加しようと思っています。

後藤弟、後藤同僚も参加できるかもしれませんので、その際はよろしくお願いします。

YWV39期 後藤 2010年1月6日未明2:05

12期榎本です。もう大晦日になりました。

次に、1月23日、24日の雪下ろしの件ですが、今のところ、参加する予定でいます。

足は、年明けに、例年のように宮前着の夜行バスの予約をしようと思っていますが、車で行かれる方で同乗可能であればお願いしたいところです。(自車は、スノータイヤではなくチェーンですの
で.....)

年始に雪がかなり降りそうですので、宮崎さんの帰京後の状況報告が重要ですね！

安藤さん、参加の申し込み状況はいかがでしょう？

2009年12月31日 未明2:14



2008年冬、小屋に集合

34期親跡です。お疲れ様です。

小屋組は絶好の好天に恵まれ、スキーを満喫した模様です。31日は早めに小屋を出て、

12 時頃にお風呂に行くかもしれません、とのことでした。

1 2 月 3 0 日 1 7 時 2 3 分

30 期の宮崎です。

12/31 午後に小屋に入ります。

メンバーは私と同僚の計 2 名で、1/3 まで滞在予定です。
後藤さんやボーイ一行とはちょうど入れ違いでしょうか？
できればどこかでお会いしたいと思います。

1 2 月 3 0 日 早朝 4 時 発 信

笹倉さん、各位

おはようございます。後藤です。
今回は不参加とのこと、残念です。
荷揚げはお手伝いできるとおもいますが、極寒の小屋で腰痛はしんどいですね。
ゆっくり養生されてください。

現時点では以下予定です。

12/28 小屋入り

・後藤(39)、後藤弟、後藤同僚(1 名になりそうです)、計 3 名

12/29 小屋入り

・石川(41)、横須賀ボーイスカウト(大人 4、子ども 4)、計 9 名

いずれも 31 日に小屋を出る予定です。

また、状況見て多少でも雪かきをするつもりです。

杉ノ原のホームページには本日より第三高速がオープンすると書いてありましたので、ある程度積雪は
あるものと期待していますが...

他に小屋入りを予定されている方がいらっしゃいましたらご連絡いただければと思います。
よろしくお願ひします。

後藤さんへ

ご配慮ありがとうございます。

小屋の件ですが、29日以降から小屋ゆきそうな人が今のところ、募集してもいないようでもあるし、最近、腰痛がひどく、年内に直りそうにありません。1人で荷物背負って登るや、スキーも不安であるので、年末の小屋行きを中止して静養しようと考えています。（今年の雪下ろしも参加無理かもしれません）。

雪の方は、年末になってから結構積もっているようで、スキーにはよいかもかもしれませんね。ただ、公式雪下ろしが当面行われないスケジュールでもあるようで、年明け以降の本格的な積雪を考えると、今のタイミングで周りだけでも雪をかいておくのは大切と思います。（屋根の雪は、今は自然に落ちる程度の積雪と気温であると思われるため不要と思いますが）

気をつけて楽しんできてください。

では。ささくら On 2009/12/25, at 20:03, 笹倉

みなさま こんばんは、39期 後藤です。

年末の状況、いかがでしょうか。

後藤は今のところ以下予定になりそうです。

往路：27日夜東京発、28日夕方小屋入り

復路：31日夜小屋発、31日深夜？東京着

今のところ、以下メンバです。

後藤(39)、後藤弟、後藤同僚2名

28日からは石川(41)+ボーイスカウトが小屋入りすると聞いています。

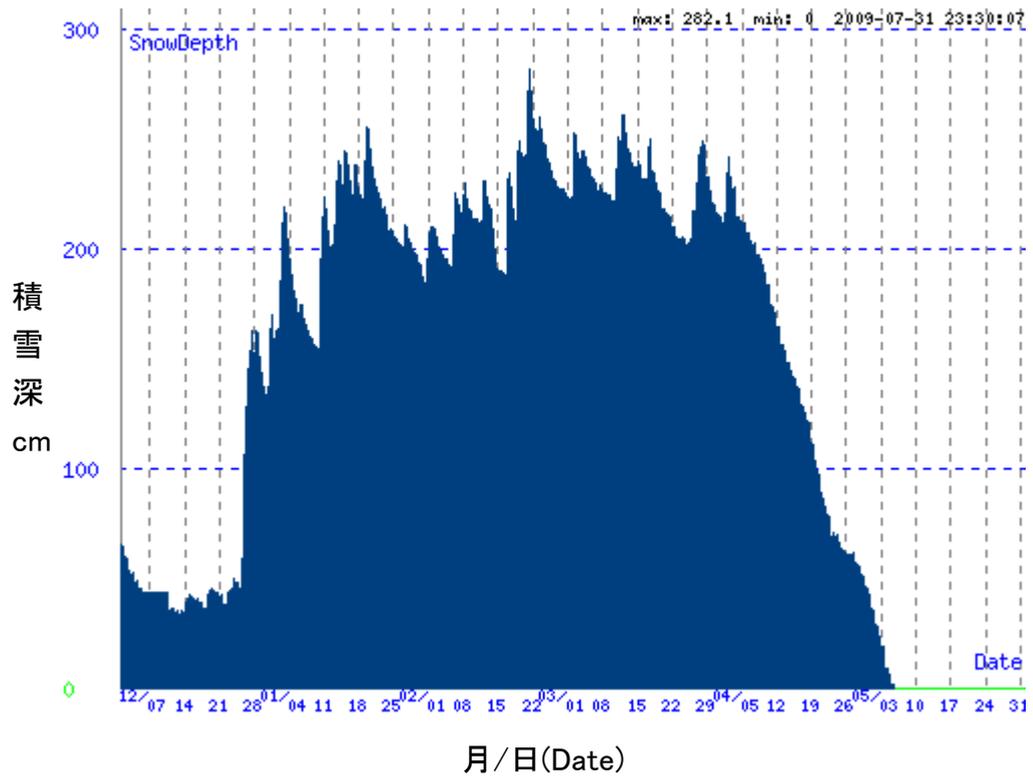
28日に買出しを行うつもりですので、小屋入りする方がいらしたらご連絡ください。（もしかしたら新井辺りまでいきます）

こここのところの冬型でだいぶ積雪があったようですが、小屋の雪が多い場合はまず雪下ろしをするつもりです。ほどほどなのを期待していますが...

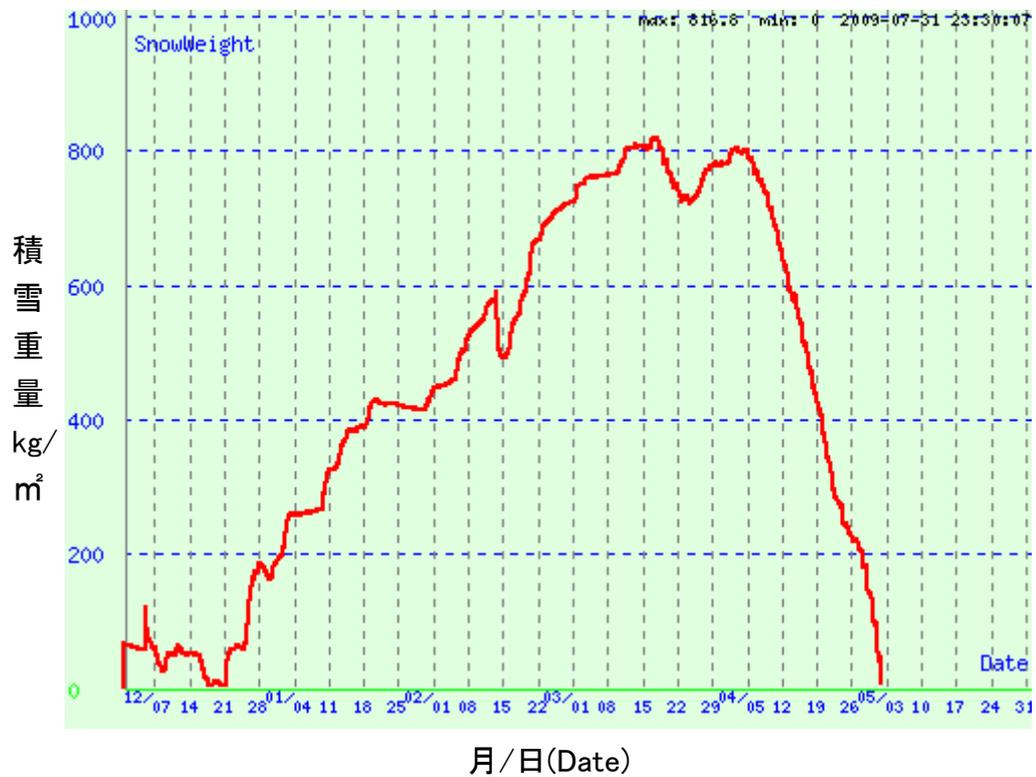
よろしくお願ひします。

2008年12月～2009年5月までの積雪、気温、風速情報 (YWVOB会 HP 委員会再掲)

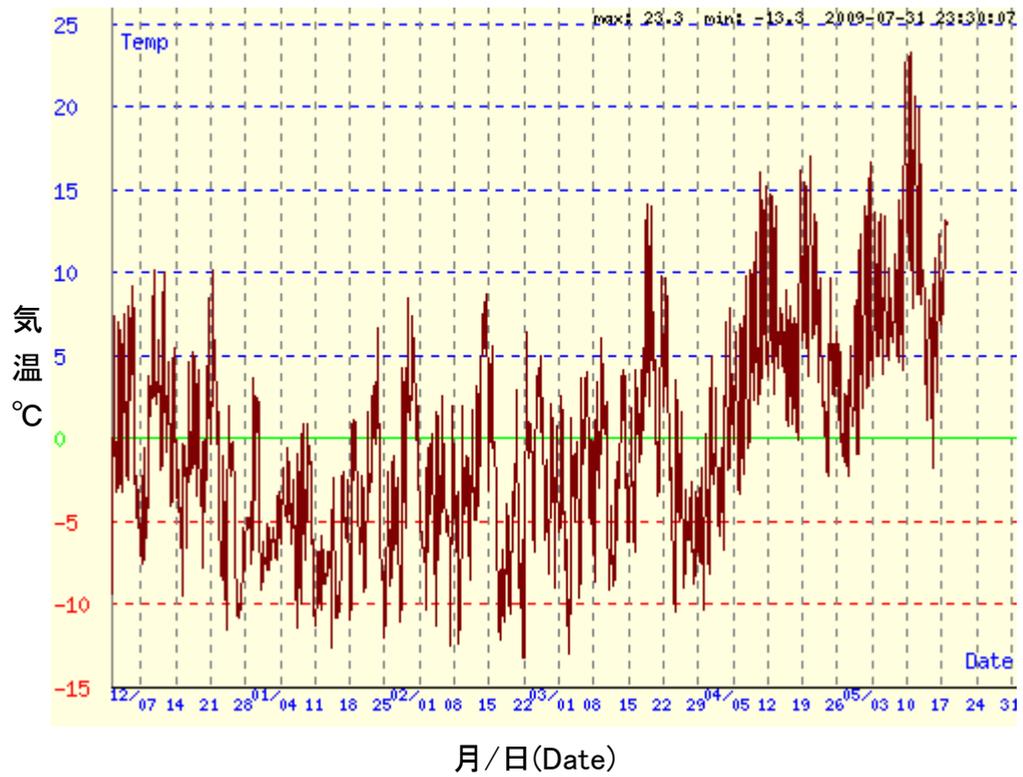
妙高笹ヶ峰一積雪深



妙高笹ヶ峰一積雪重量



妙高笹ヶ峰一気温



妙高笹ヶ峰一風速

